

先端機器利用による陶磁器製インテリア製品のデザイン研究

水野 潤 長谷川恵子 小沢三彦

Design of Tableware & Novelties

By

Jun MIZUNO, Keiko HASEGAWA, and Mitsuhiro KOZAWA

陶磁器製インテリア用品のデザイン開発を行った。理髪店向けのシェービングセット、カントリー調家具用の取手、そして昨年度に引き続きシャンプー・ハンドソープ用のディスペンサーなど、CADの3次元シミュレーション機能を使ってレンダリングを作成した。そのうち6アイテムについて試作品を作成した。

1. 緒 言

瀬戸地区は、陶磁器産地としての長い歴史の中で多種多様な陶磁器製品を生産し、特色ある産地を形成してきた。

しかし現在では、人件費の高騰、円高などの経済環境の悪化に加え他産地との競合などの問題を抱えており、陶磁器製造業界はこれまでにない厳しい局面を迎えている。

そのため国内市場をターゲットとした競争力のある新規性の高い製品開発が求められている。これらを踏まえ、本

研究では、①競合商品が少なく、新規性のある商品による市場開拓、②瀬戸地区の陶磁器製造技術を活かせるアイテム、③インテリア製品として、生活をより楽しく个性的に演出できること等のコンセプトから開発アイテムを選定している。本年度は昨年度実施したソープディスペンサーのデザインのバリエーションを豊富にするとともにシェービングセット、家具用取手を3次元CADを用いてデザインし、試作を行った。

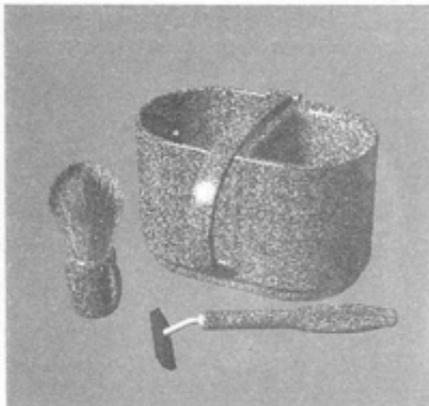


写真1

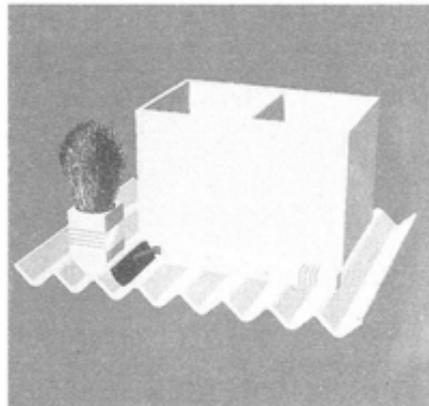


写真2

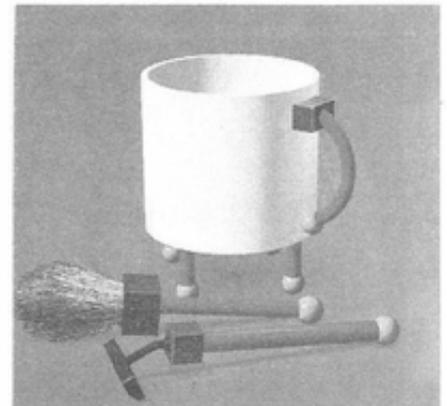


写真3



写真4

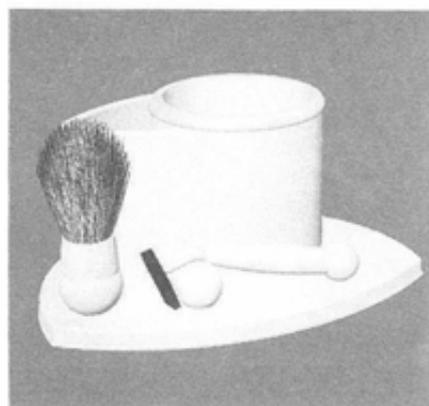


写真5

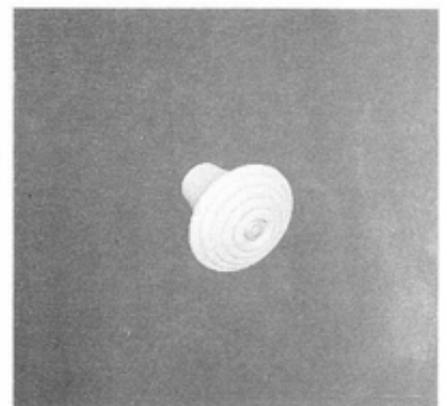


写真6

2. CADによるデザイン展開

2.1 シェービングセットのデザイン

理髪店は同じような料金、営業時間帯の中でサービスによる差別化が進んでいる。技術や対応だけでなくインテリアの個性化も求められている。このような状況にあっては店の持つ雰囲気も大事な要素となり、その一つの演出用具としてシェービングセットは重要なアイテムとすることができる。瀬戸地区の得意とする少量生産を活かしてロゴやマークを入れたり、内装計画とコーディネートされた色彩・形状など細かな要望に応えることが必要と思われる。

(1) 瀬戸地区で生産されている珪砂の副成物、鉄砂を添加した磁器素地を用いて石のテクスチャを表現したデザイン。形状はオーソドックスにまとめた。(剃刀は個人向け一般商品用) (写真1)

(2) 洒落た都会的イメージを演出するため、ストレートなラインを基調にモダンさをだした。(写真2)

(3) ファッション性が重視される店舗向け。先進部形状と色彩を取り入れたデザイン。(写真3)

(4) 丸みを強調した形状で柔らかさとボリューム感をだすとともに、セブルと金の色彩により高級感のある店舗づくりに対応するデザイン。(写真4)

(5) 円の持つタイトな感じと円弧の持つ拡張感を調和させたシャープなモダンさを狙ったデザイン。(写真5)

2.2 家具用取手のデザイン

バブル崩壊以後様々な業界で不況が囁かれる中において史上最低金利という追い風を受けて住宅の着工数は好調に推移している。そのため関連商品である家具を始めインテリア商品に対する関心が高まってきている。特に最近の傾

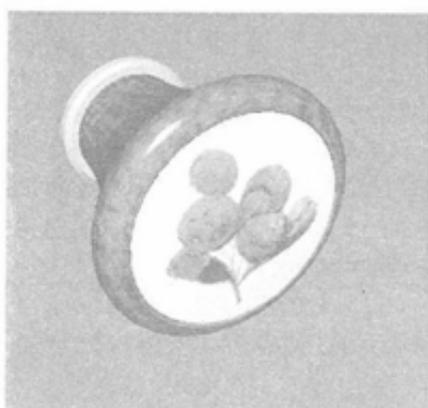


写真7

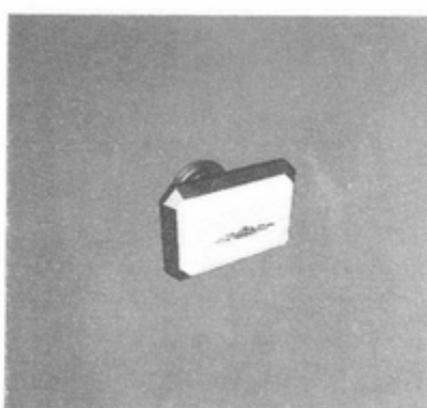


写真8

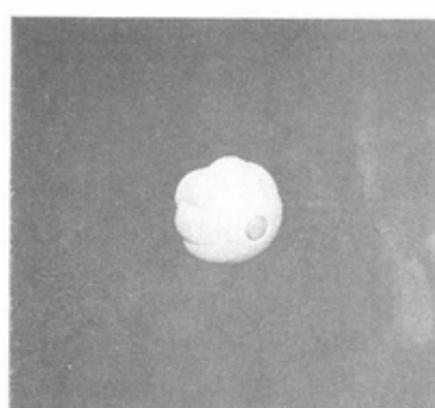


写真9



写真10

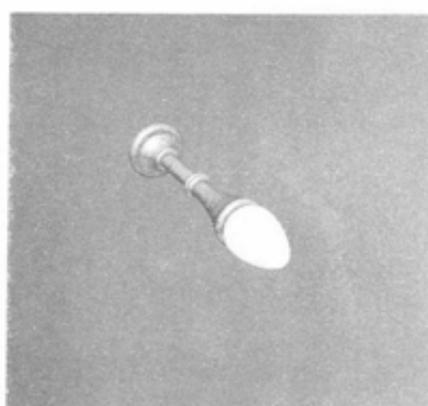


写真11

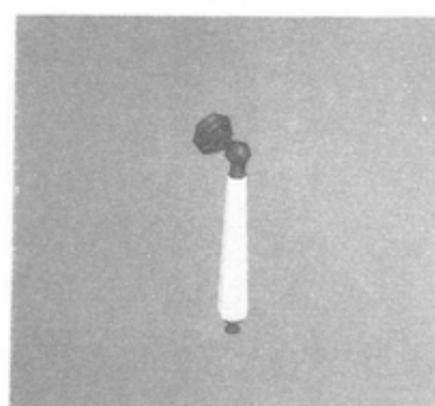


写真12

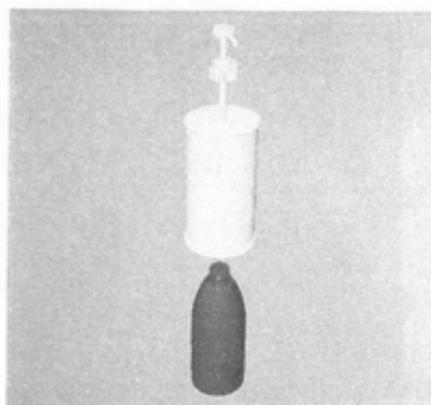


写真13



写真14

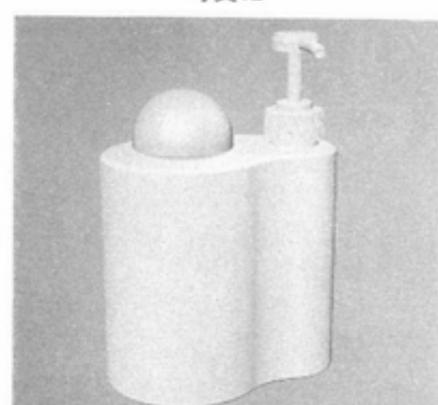


写真15

向としてカントリー調と言われる素朴でシンプルな感性が注目をされており、そのような家具に適した扉や引き出し用の取手に陶磁器の利用を検討しデザインを行った。

(1) 陶磁器製の引き出し用取手。(写真6)

(2) 取手本体は木製、ベースには真鍮を使用し正面には赤い実の絵柄を施した陶板を嵌め込んだ。(写真7)

(3) 青銅製ボディに角型の陶磁器を嵌め込んでクラシックなイメージを持った小さめの引き出し用取手。(写真8)

(写真8)

(4) 書棚などのガラス戸用にデザインした丸みを帯びた取手。(写真9)

(5) 本体に真鍮を使った引き出し用取手。(写真10)

(6) 金属と陶磁器を組み合わせた書棚の扉用取手。(写真11、12)

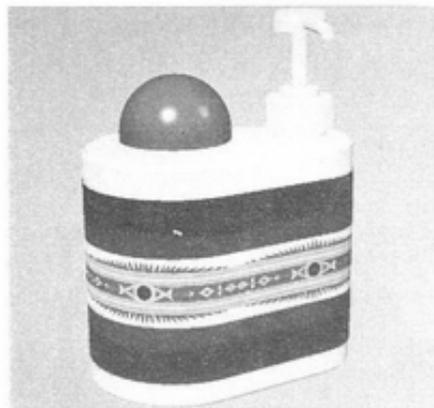


写真16

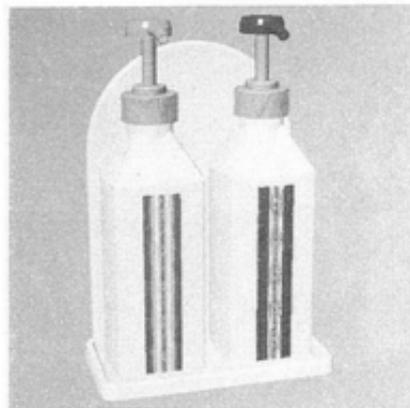


写真17

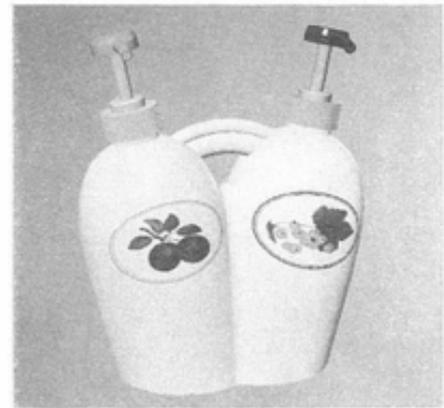


写真18

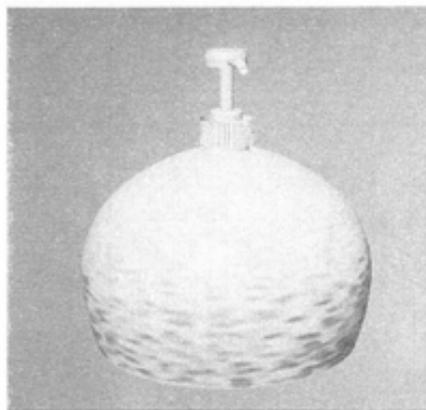


写真19

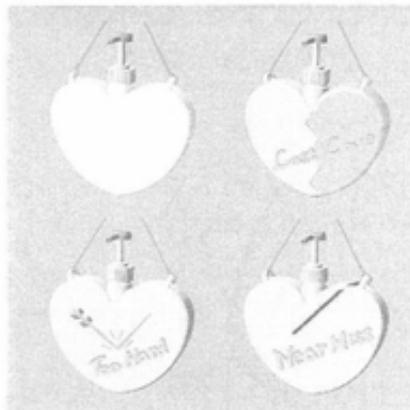


写真20

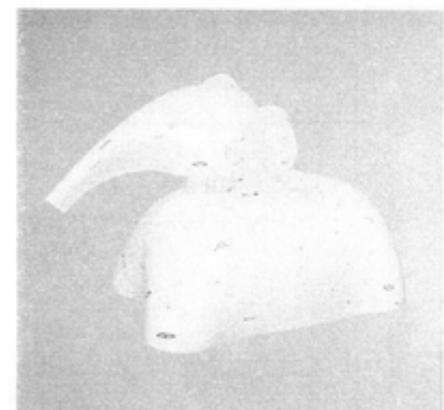


写真21



写真22

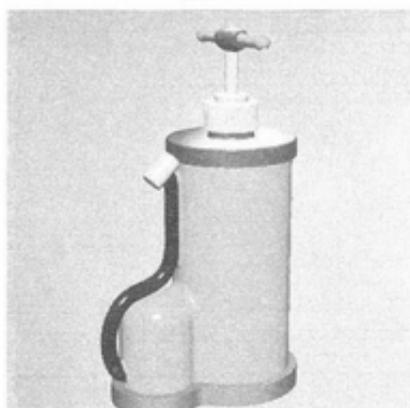


写真23

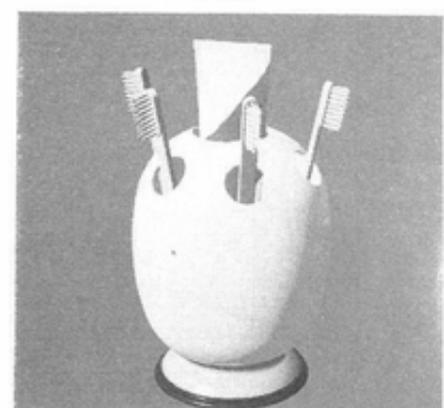


写真24

2.3 ソープディスペンサーのデザイン

昨年度に引き続きシャンプーやハンドソープを入れるディスペンサーをCADを使いデザインした。

(1) ソープディスペンサーが普及するまでの過渡期的な商品としてのデザイン提案。従来のプラスチック容器に陶磁器製カバーを被せることで、詰め替え時の手間を省き、また現行のプラスチック容器入りシャンプーと一緒にセットすることでギフト商品化しやすい構成となっている。

(写真13)

(2) 転倒などによる破損を防ぐためにディスペンサーの底面積を大きめにした。また、移動させる際に滑らないように取手を設けたデザイン。(写真14)

(3) 石鹸の詰め替え時に石鹸液のついたポンプを脱着することなく詰め替えが可能のように詰め替え用のキャップ



写真25 シェービングセット

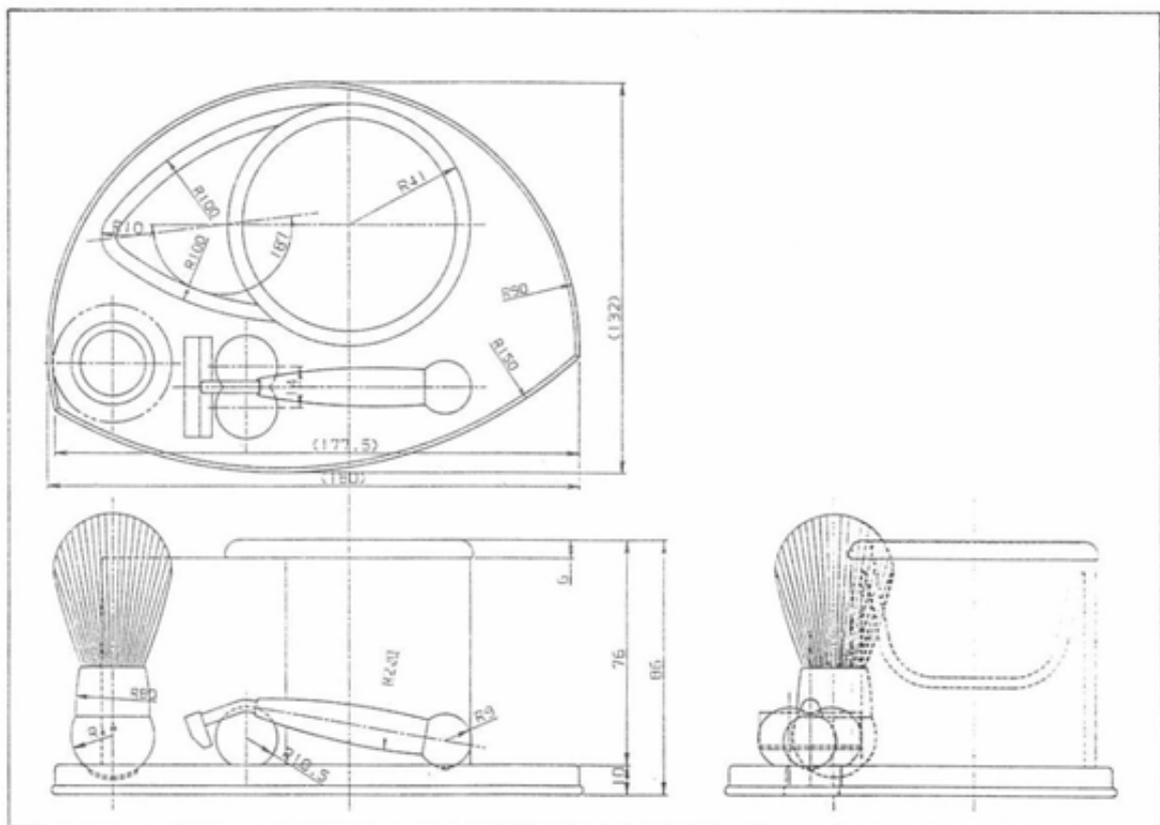


図1 シェービングセットの寸法

を独立して設けたタイプ。(写真15、16)

(4) 浴室で同時に使用されることが多いシャンプーとリンスのディスペンサーをセットにしたデザイン。色彩によりそれぞれの判別を容易にしている。(写真17、18)

(5) 転倒防止の対策として底面積を大きく取るとともに、最近増えている3世代家庭など大家族用に容量を大きくしたデザイン。(写真19)

(6) シャンプーに一番敏感な若い女性をターゲットにしたデザイン。ハート形のハンギングタイプのボディに様々な絵柄を施し楽しさやユーモアを狙ったボディーション用ディスペンサー(写真20)

(7) シャンプー嫌いな子供向けにデザインした。親しみやすい象を形どり、アルファベットをアレンジした絵柄を組み合わせた楽しさ溢れるディスペンサー(写真21)

(8) 生活に面白さと変化を与えるファンシーなタイプ。ログハウスや空気入れを形どったディスペンサー。

(写真22、23)

(9) 毎朝の歯磨を楽しくさせる歯ブラシセット。汚れた場合に掃除しやすいようにボディとベースが分離できる構造とした。(写真24)

3. 試 作

CADによりシミュレーションレンダリングを作成した中からシェービングセット1種類と家具用取手5種類を試作した。試作品は全て素地に白磁を使い、排泥鑄込により成形し、1280℃で還元焼成した。

3.1 シェービングセット

シェービングセットはシェービングカップ、シェービングブラシ、トレーの4点と一般家庭でも使用可能なように、使い捨て刃がセット出来る剃刀ハンドルを加えた5点セットとした。(写真25、図1)

3.2 家具用取手

木製のノブに磁器性のオーナメントを嵌め込んだタイプ3種類と磁器性の本体のベースに真鍮、べっ甲模様のセルロイド製リングを取り付けたタイプの5点を試作した。木製ノブのタイプは現在の自然志向のインテリアにマッチするよう上絵により蝶、ベリー類の絵柄で加飾を行った。

(写真26、図2)



写真26 家具用取手

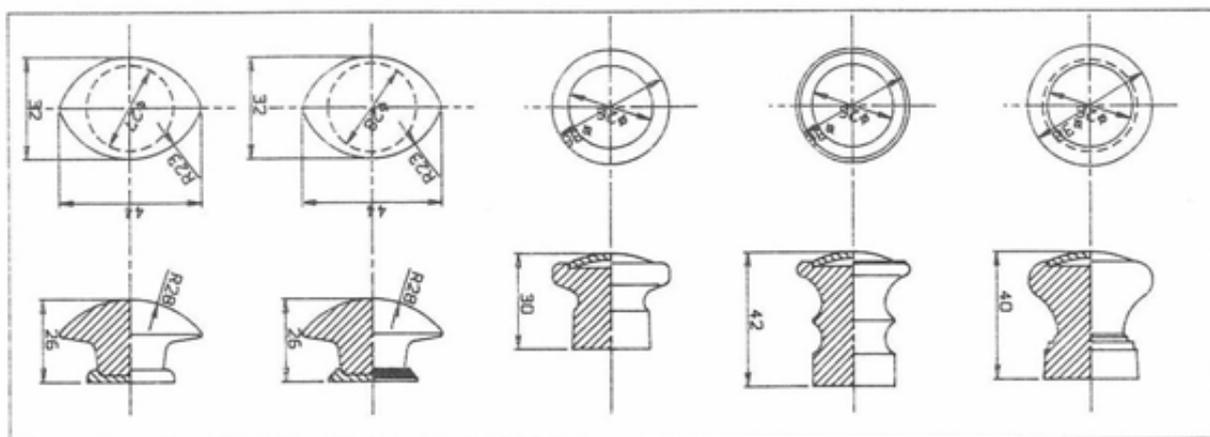


図2 家具用取手の寸法